

第5学年 社会科学習指導案

日時 平成27年11月16日(月)

あきる野市立草花小学校 第5学年2組 40名

授業者 小松 里実

1 小単元名 「世界とつながる日本の工業」

2 小単元の目標と観点別評価規準

工業生産を支える貿易や海外生産のはたらきと、それらを通じた世界各国との結びつきについて調べ、その特色や課題を捉えることから、今後の貿易・海外生産の進め方について考えようとする。

観点	評価規準	学習過程の どこで
社会的事象への 関心・意欲・ 態度【関】	① 身の回りの輸入品について、興味をもち調べようとしている。 ② これからの貿易や海外生産をどのように進めていけばよいか、関心をもって考えようとしている。	つかむ ふかめる
社会的な思考・ 判断・表現 【思】	① 工業製品を通じた世界各国との結びつきについて調べる学習問題を考え、表現している。 ② 日本の貿易の特色について調べたことをもとに、日本の工業生産と貿易との関わりについて考え、表現している。	つかむ 調べる まとめる
観察・資料活用 の技能【技】	① 日本の工業生産を支える貿易の様子について、必要な情報を読み取り、まとめている。	調べる
社会的事象につ いての知識・ 理解【知】	① 貿易や海外生産を通じた世界のさまざまな国々とのつながりが、工業生産を支えていることを理解している。	調べる

3 小単元について

本小単元は、小学校学習指導要領社会科第5学年の目標(2)(3)、内容(2)ア、イ、ウに基づいて設定した。

学習指導要領小学校社会科 第5学年の目標

- (2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

第5学年の内容(3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。

ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること

イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など

ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き

本小単元は、工業製品の原材料の多くが外国から輸入されていることや、工業製品が国内をはじめ、世

界の様々な国や地域に輸出されていることなどを統計資料を活用して調べることを通して、我が国の工業生産の現状や特色を具体的に捉えることができる。

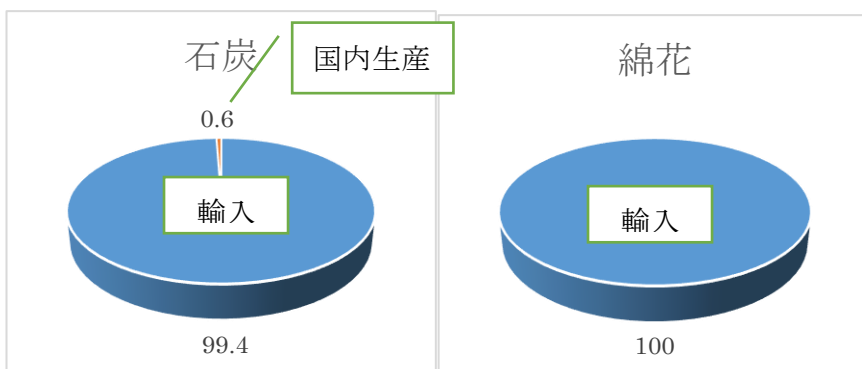
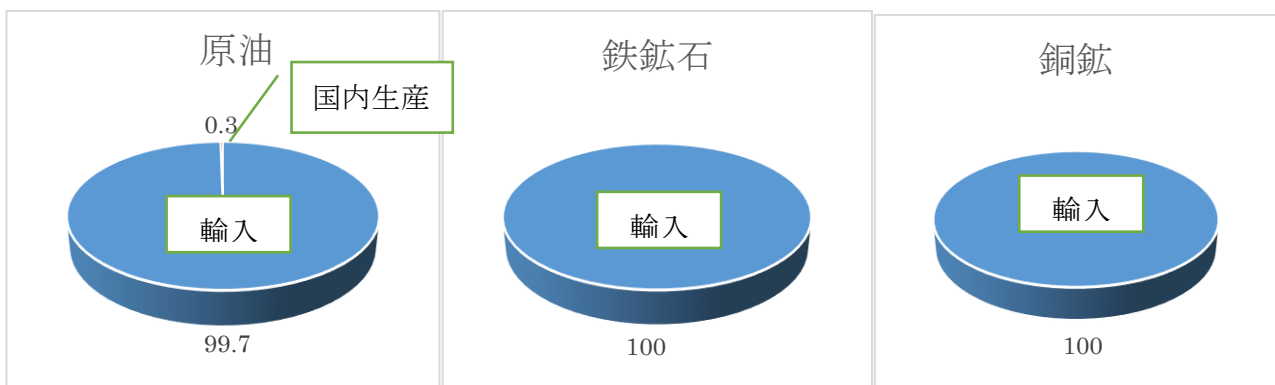
従来の我が国の工業生産の学習では、加工貿易を我が国の工業の特色と位置付けることが多かった。しかし、現在では外国から製品の輸入も行われるようになり、「自動車をつくる工業」でも学習したように、我が国からは生産技術が伝えられ、現地生産も行われるように変化してきている。本小単元は、このような変化も我が国の工業生産の現状や特色として捉えた上で、我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることと、これからの我が国の工業生産の在り方や外国との工業生産における関係について、広い視野から考え理解を深めることができる教材である。

本小単元は、前小単元「自動車づくりにはげむ人々」をうけ、原材料の確保や製品の販売などに見られる貿易や運輸などの働きが、工業生産を支える大切な働きをしているという、工業生産に対する認識を広げることを意図として設定した。

現在、原油や鉄鉱石、石炭や銅鉱、綿花といった工業原料はほぼ100%を輸入に頼っている。前小単元で学習した自動車の製造に使われる鉄やアルミなどの金属、タイヤに使われるゴムなど、輸入している工業原料がなければ製造することはできない。機械工業だけでなく、食料品工業の原材料にもなる大豆や小麦も多くを輸入に頼っている。

また、日本は加工貿易がさかんであり、自動車などの輸送機械や機械、電気機械、化学製品といった工業製品が輸出品別の輸出額の上位にあがっている。近年では、現地生産の割合も増えてきており、日本と世界のさまざまな国との工業生産を通じた結びつきも強くなっている。

さらに、TPPに代表されるように、貿易や海外生産を取り巻く状況は日々変化している。日本はかつて輸出額が輸入額を上回る輸出国であったが、近年は国内製品の輸出の伸び悩み、原油・液化ガスの輸入量の増加などの影響によって貿易赤字国になっている。貿易や海外生産は、国内の産業構造や海外との関係性の中で、今後も変化し続けていくものであることを理解できるようにする。



出典 日本標準「社会科資料集5年」

4 児童の実態について

※児童のアンケートの人数と分析は削除しています。

研究主題との関連

学習指導の工夫

日本の貿易の現状を理解させるために、グラフなどの資料の読み取りを取り入れていくが、貿易の取扱い額の変化の様子も読み取るため、いくつもの資料を関連付けることが必要となる。読み取り方を確かめながら、丁寧に読み取らせるようにしたい。また貿易相手国についても、地図帳で位置確認をさせ、白地図などにまとめるという作業も取り入れていきたい。それらの読み取りや作業を通して、我が国の貿易が従来の加工貿易とともに製品を輸入する貿易に変化してきた様子もつかませていきたい。

ふかめる段階

社会的事象の意味や自分の生活との関連、現在・未来の課題に対する解決策などについて、理由や根拠を明らかにしながら考えたことを交流し、社会認識を深め、社会的事象について関心をもち続けられるようにする。今回の実践では、貿易や日本の海外生産を取り巻く状況について知り、これからの貿易と海外生産のあり方について考えることができるようにする。

評価

① 理解・能力・態度の観点から育てたい子供の姿を具体化

国土や産業についての学習での育てたい子供の姿を理解・能力・態度の三つの観点から明らかにし、具体化を図る。

② 効率的かつ効果的な評価の実施

具体的な評価規準を設定し、観点と場面を絞って評価する。

① 指導計画に対応した評価計画の作成

到達させたい子供の姿を明確にし、そのための手だてを明らかにすることで、次時以降の授業改善の一助とする。次に、実際の指導計画に上記の評価規準を具体化したものを記し、指導計画に位置付けた評価規準を子供の姿でどのように見取ることができるかを明らかにし、評価計画を作成する。

④ 全児童の全時間の記述を基に、分析・検証を行う。

5 知識の構造図と育てたい子供の姿

学習指導要領

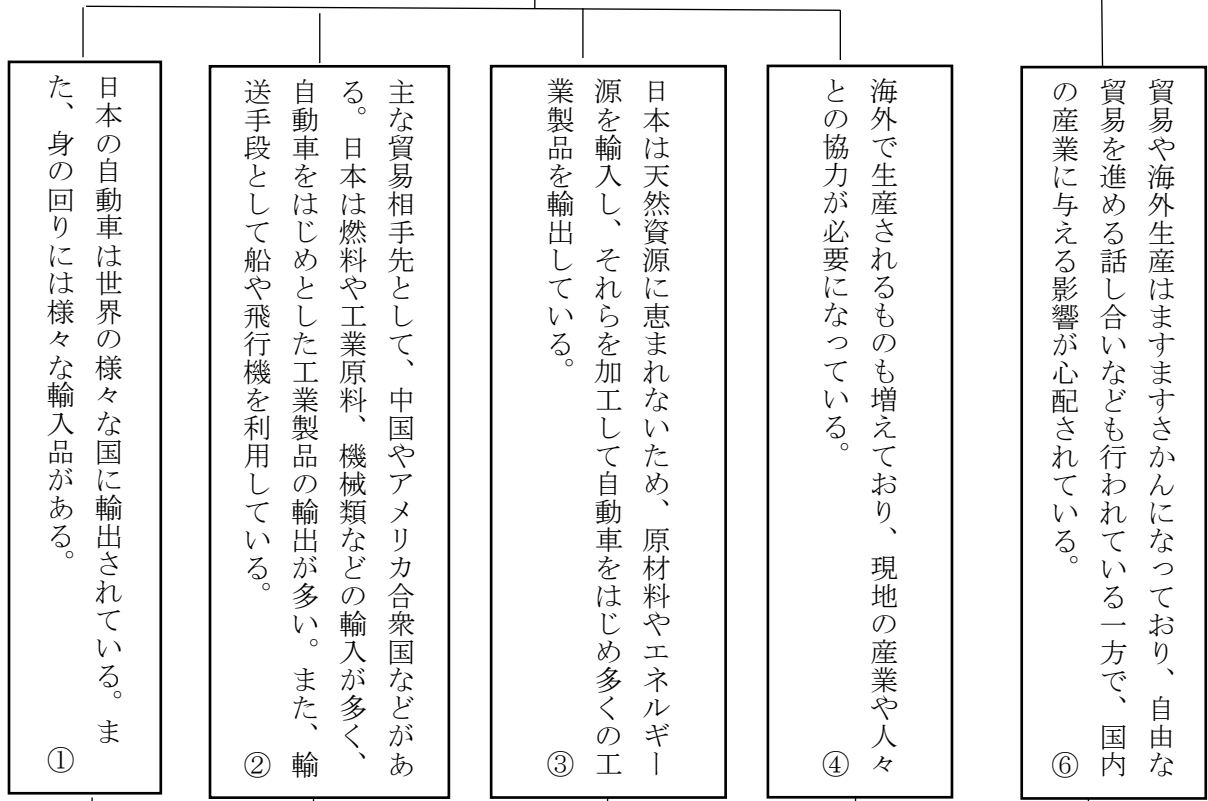
内容 (3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることが考えるようにする。

ウ 工業生産に従事している人々の工夫や、努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き

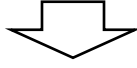
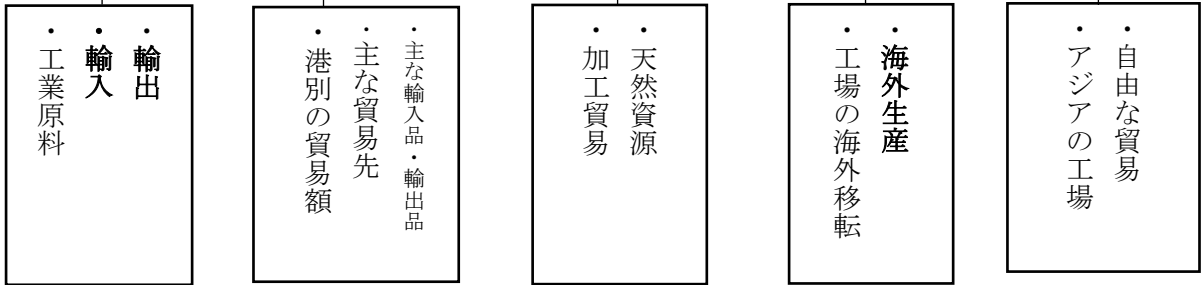
中心概念

日本の工業生産は、貿易や運輸といった世界との結びつきに支えられており、世界の国々と協力して行われることで工業生産が成り立っている。⑤

具体的な知識



用語



育てたい子供の姿

我が国の工業生産を支える貿易や運輸の関連について理解を深め、これからの工業生産について自分なりの考えをもつ子供。

6 指導計画

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	教師の指導・支援 (○指導、留意点 □教材 ◇評価)
つかむ	<p>① 日本の自動車は世界の様々な国に輸出されていることや、身の回りには様々な輸入品があることを知り、学習問題を立てる。</p>	<p>○日本の自動車の主な輸出先を調べる。 ・アメリカ、オーストラリア、中国、ロシアなど</p> <p>○身の回りの輸入品について調べる。 ・衣服・中国、ベトナム、インドネシア、バングラデシュ ・食料品・エクアドル、ノルウェー、オーストラリア</p> <p>○輸入額の多いものを予想し、資料から読みとる。 ・衣服や食料品が多いのではないか。 ・石油や天然ガスが多い。 ・他にも部品や石炭など、工業生産に使われるものが多い。</p> <p>○日本は世界の国々と輸入・輸出を通じてつながっていることを知り、学習問題を立てる。</p>	<p>□日本の自動車の主な輸出先の地図 □港に集められている自動車の写真 □身の回りの輸入品 衣服、食料品 (写真、実物)</p> <p>○輸入国の場所を地図で確認する。 ◇身の回りの輸入品について、興味をもち調べようとしている。</p> <p>【関】① □工業原料の輸入割合の(グラフ)</p> <p>◇工業製品を通じた世界各国との結びつきについて調べる学習問題を考え、表現している。</p> <p>【思・判】①</p>
<p>学習問題 日本は工業製品を通じて、世界の国々とどのようにつながっているのだろう。</p>			
	<p>② 日本の主な輸出品・輸入品、貿易相手先について調べて、理解することができる。</p>	<p>○日本の主な輸入品と輸入先について資料から読み取る。 ・輸入品は石油、機械類、液化ガス、衣類、石炭の順に輸入額が多い。 ・輸入先は、中華人民共和国、アメリカ合衆国、オーストラリア、サウジアラビア、アラブ首長国連邦の順に輸入額が多い。</p> <p>○日本の主な輸出品と輸出先について資料から読み取る。 ・輸出は機械類、自動車、鉄鋼、自動車部品、</p>	<p>□日本の主な輸入品目の輸入割合、輸入先</p> <p>□日本の主な輸出品目の輸出割合、輸出先</p>

		<p>精密機械の順に輸出額が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出先は中華人民共和国、アメリカ合衆国、大韓民国、台湾、タイの順に輸出額が多い。 <p>○貿易の主な輸送手段について資料から読み取り、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・99%以上は船で運んでいる。残りは飛行機で運んでいる。 ・貿易額が一番多いのは成田国際空港。続けて名古屋港、東京港、横浜港、神戸港、大阪港の順になっている。 ・飛行機では電子機器、医薬品など比較的高価なものを運んでいる。 ・船では、大きいものや重いものを運ぶ。例えば自動車、産業機械など。 	<p>□貿易の主な輸送手段</p> <p>○日本は島国なので、船による貿易が多いことを押さえる。</p> <p>◇日本の工業生産を支える貿易の様子について、必要な情報を読み取り、まとめている。【技】①</p>
調べる	<p>③ 自動車づくりで学習したことをもとに、日本の貿易の特色を理解することができる。 (本時)</p>	<p>○自動車の輸出先について復習し、本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ、中国、オーストラリア、ロシア <p>○自動車部品の材料は何か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コイル材、プラスチック <p>○自動車の原材料の輸入相手国と輸入割合を調べ、輸入割合が高い理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄は鉄鉱石から、プラスチックは原油から作られる。 ・鉄鉱石・・・オーストラリア。輸入が100%。 ・原油(石油)・・・サウジアラビア、アラブ首長国連邦、インドネシア。輸入が99,7%。 ・日本は天然資源が非常に少ないため、輸入に頼っている。 <p>○学習課題に対するまとめを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は工業原料を輸入して、それを便利な製品に作り変えて輸出することで世界とつながっている。 	<p>○自動車工場での見学の様子を想起させ、コイル材の材料から考えさせる。</p> <p>□コイル材、タイヤ、ネジ、ハンドル、アルミホイールの写真</p> <p>□自動車に使われる工業原料の割合の資料</p> <p>○原材料である原油、鉄鉱石、石炭、天然ガスをまとめて天然資源ということを押さえる。</p> <p>◇日本の貿易の特色について調べたことをもとに、日本の工業生産と貿易との関わりについて考え、表現している。 【思・判】②</p>
	<p>④ 主な工業製品の海外生産の割合の変化について調べ、日本の工業生産と世界の国々との結</p>	<p>○日本の自動車の輸出台数や海外生産台数の変化を資料から読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内生産台数が減り、海外生産台数が増えている。輸出はあまり変わらない。 <p>○海外生産の様子について調べる。</p>	<p>□日本の自動車の生産台数と輸出台数の変化(グラフ)</p> <p>□海外生産の割合(グラフ)</p>

	<p>びつきについて考えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車や化学製品が海外生産の割合が増えている。 ・自動車工場は世界中のいろいろな国にある。 ・海外の自動車工場は、アジアでの生産台数が多く、次に北アメリカでの生産台数が多い ・輸出するよりその国でつくった方が早いからだと思う。 ・海外生産をするときには、仕事に対する考えの違いを理解することが必要。 ・日本のやり方を指導するだけでなく、その国にあった仕事の仕方を取り入れていくことが大切。 <p>○海外生産が増えた理由やよさについて考えて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本から輸出される自動車が増えすぎて、外国から「つりあいのとれた貿易をしてほしい」という声があがったので、現地で生産するようになったそう。 ・その国の人々の暮らしにあわせた製品が作りやすくなるという良さがある。 ・現地の人たちの働く場所が増えるよさがある。 	<p>フ)</p> <p>□おもな工業製品の生産台数の割合（グラフ）</p> <p>□海外生産の様子（写真）</p> <p>○海外生産の利点としてその国での生産・販売になるため関税がかからないことや、現地にさまざまな経済効果（雇用の創出や生産技術の習得）をもたらすこともおさえる。</p> <p>◇貿易や海外生産を通じた世界のさまざまな国々とのつながりが、工業生産を支えていることを理解している。</p> <p style="text-align: right;">【知】①</p>
<p>まとめる</p>	<p>⑤ 調べて分かったことをまとめる。</p>	<p>○これまでに調べて分かったことを「貿易」「工業生産」の2つの観点でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸入も輸出も第1位が中国で、2位がアメリカ。 ・燃料や原料などの天然資源を多く輸入し、工業製品を多く輸出している。 ・自動車や化学製品が海外生産の割合が増えている。 <p>○学習問題に対するまとめをする。</p> <p>日本は世界の国々と輸入や輸出、海外生産を通じて結びついている。</p> <p>具体的には</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日本の貿易の特ちょうは、燃料や原料などの天然資源を多く輸入し、工業製品を多く輸出していることである。 ② 貿易では船や飛行機などを使い分けて、輸送を行っている。 ③ 自動車をはじめとしたさまざまな工業製品が海外生産されている。 	<p>◇日本の貿易の特色について調べたことをもとに、日本の工業生産と貿易との関わりについて考え、表現している。</p> <p style="text-align: right;">【思・判】②</p>

<p>ふかめる</p>	<p>⑥ 世界の貿易や日本の海外生産を取り巻く状況について知り、これからの貿易と工業生産のあり方について考えることができるようにする。</p>	<p>○世界の貿易の動向や現在の貿易が抱える課題について、資料から読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の貿易額は増えている。 ・貿易が進むと世界のいろいろな品物を手に入れやすくなる。 ・外国の安い物が輸入されることで、国内の産業が衰えるかもしれない。 ・国内の産業を守るためには、関税をかけたり、輸入を制限するルールを決めたりすればいい。 <p>○日本の工業生産の新しい形・多様な形を資料から読み取る。</p> <p>○これから貿易や工業生産を進めていくうえで、大切だと思うことを考えて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易の進め方については世界の国どうして話し合っ決めていくことが大切。 ・お互いの国の発展や人々の暮らしのことを考え、協力し合うことが大切。 ・国内の産業が衰えないように、輸入や海外生産に頼りすぎないようにする。 	<p>□世界の貿易額の変化（グラフ）</p> <p>□世界の貿易の動向（写真）</p> <p>□携帯電話の部品工場、組み立て工場の国別資料</p> <p>◇これからの貿易や工業生産をどのように進めていけばよいか、関心をもって考えようとしている。 【関】②</p>
-------------	---	---	---

7 本時の指導（3時間目／6時間）

(1) ねらい

自動車づくりで学習したことをもとに、日本の貿易の特色を理解することができる。

(2) 本時展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	教師の指導・支援 (○指導、留意点 □教材 ◇評価)
導 入	① 自動車の輸出先について復習し、本時の課題をつかむ。 ・アメリカ、中国、オーストラリア、ロシア	
<p>自動車は世界と、どのようにつながっているのだろう。</p>		
展 開	<p>② 自動車部品の材料は何か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コイル材・・・鉄 ・ハンドル（プラスチック）・・・原油 ・アルミホイール・・・アルミニウム <p>③ 自動車の原材料の輸入相手国と輸入割合を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄は鉄鉱石から、プラスチックは原油から作られる。 ・鉄鉱石・・・オーストラリア。輸入が100%。 ・原油（石油）・・・サウジアラビア、アラブ首長国連邦、インドネシア。輸入が99,7%。 ・他にも工場を動かすためのエネルギーである天然ガスもある。 ・天然ガス・・・アラブ首長国連邦、インドネシア、マレーシア、オーストラリア。輸入が97%。 <p>④ 輸入割合が高い理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は天然資源が非常に少ないため、輸入に頼っている。 ・天然資源の輸入がないと、工業製品を作ることができない。 	<p>○自動車工場での見学の様子を想起させ、コイル材の材料から考えさせる。</p> <p>□コイル材、タイヤ、ネジ、ハンドル、アルミホイールの写真</p> <p>□自動車に使われる工業原料の割合の資料</p> <p>○原材料である原油、鉄鉱石、石炭、天然ガスをまとめて天然資源ということを押さえる。</p> <p>○原材料である原油、鉄鉱石、石炭、天然ガスをまとめて天然資源ということを押さえる。</p>
ま と め	<p>⑤ 学習課題に対するまとめを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は自動車を輸出するだけでなく、原材料を輸入することで、世界とつながっている。 ・日本は自動車を輸出している国だけでなく、輸入している国ともつながっている。 	<p>○日本の自動車工場が原材料を加工し付加価値を与え、製品を輸出していることに気がつくようにさせる</p> <p>◇日本の貿易の特色について調べたことをもとに、日本の工業生産と貿易との関わりについて考え、表現している。【思・判】②</p>

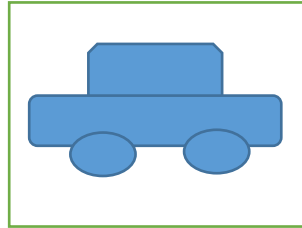
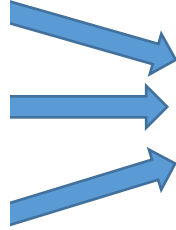
8 板書計画

自動車は世界と、どのようにつながっているのだろう。

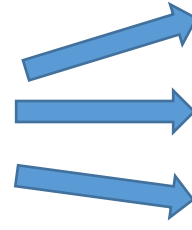
<調べる>

- 原油 99.3%
サウジアラビア、UAE、
- 鉄鉱石 100%
オーストラリア
- アルミニウム 99.7%
オーストラリア
- 天然ゴム 100%
タイ、インドネシア

輸入



輸出



- アメリカ
- 中国
- オーストラリア
- ロシア

加工貿易

- ・品質の良さ
- ・技術力の高さ

<考える>なぜ、輸入が多いのだろう？

- ・日本には天然資源がとて少ないから。